

大綱3 区民の力で築く元気に輝くまち

掲載データ一覧

掲載データ	
論点 1 区内産業・商店街の振興	
①	事業所数・従業者数の推移
②	江東区・特別区(平均)産業別集積率比較
③	江東区の中小企業数の推移、中小企業数・中小企業比率(23区比較)
④	従事者規模別の事業所割合
⑤	こうとう若者・女性しごとセンター運営事業、有効求人倍率の推移
⑥	融資貸付件数(中小企業融資・創業支援融資)の推移
⑦	個店が商店街組織に加入しない理由
論点 2 地域コミュニティの活性化	
①	町会・自治会加入世帯、加入率の推移
②	町会等のボランティア活動に参加する区民の割合
③	区が提供するコミュニティ活動情報を使ったことがある区民の割合
④	外国人住民数と全人口に占める外国人割合の推移
⑤	住民同士の交流方法
論点 3 一人ひとりが尊重される社会の実現	
①	性的少数者(性的マイノリティ)に関する行政の取組
②	審議会等委員における女性委員数及び参画率の推移
③	ワーク・ライフ・バランス推進のための取組の有無
論点 4 生涯にわたり学習できる環境の充実	
①	文化センター総利用者数の推移
②	区立図書館の蔵書数・個人貸出数・1人あたり貸出数の推移、各館の個人貸出数
③	区立図書館の利用登録者数・登録率の推移
④	区立図書館における改善を希望するサービス
論点 5 スポーツを楽しめる環境の充実	
①	区立スポーツ施設利用者数の推移、教室(自主事業)の主な内容
②	障害者スポーツへの関心度
論点 6 文化・歴史の継承と観光振興	
①	区内の主な文化財・観光名所
②	主な観光・文化施設への来場者数の推移
③	観光ガイドの案内者数の推移

区民の力で築く元気に輝くまち

論点

- ① 区内産業・商店街の振興
- ② 地域コミュニティの活性化
- ③ 一人ひとりが尊重される社会の実現
- ④ 生涯にわたり学習できる環境の充実
- ⑤ スポーツを楽しめる環境の充実
- ⑥ 文化・歴史の継承と観光振興

論点1 区内産業・商店街の振興

- これまでの区の実績・現状
- ・ 江東区では、制度融資や経営相談などを通じて中小企業の競争力の強化や区内での創業支援を進めるとともに、優れたものづくり企業を認定する「江東ブランド事業」を通じて、区内企業の積極的なPRを行ってきました。
 - ・ 魅力ある商店街の形成に向け、個店の魅力を発信する情報誌「ことみせ」の発行のほか、イベント事業への補助や空き店舗の活用支援、多言語表記の促進などを行ってきました。
 - ・ 他区と同様、江東区の中小企業数は減少傾向にあるものの、区内事業所数に占める中小企業の割合は、98.4%と高い水準を維持しています。産業別の集積状況を見ると、他区と比較して、製造業、運輸・倉庫業の割合が高いという特徴があります。

- 社会状況
- ・ 国は、「新しい経済政策パッケージ」を策定し、生産性革命として人手不足に悩む中小・小規模事業者も含め、企業による設備や人材への投資を力強く促進することとしています。

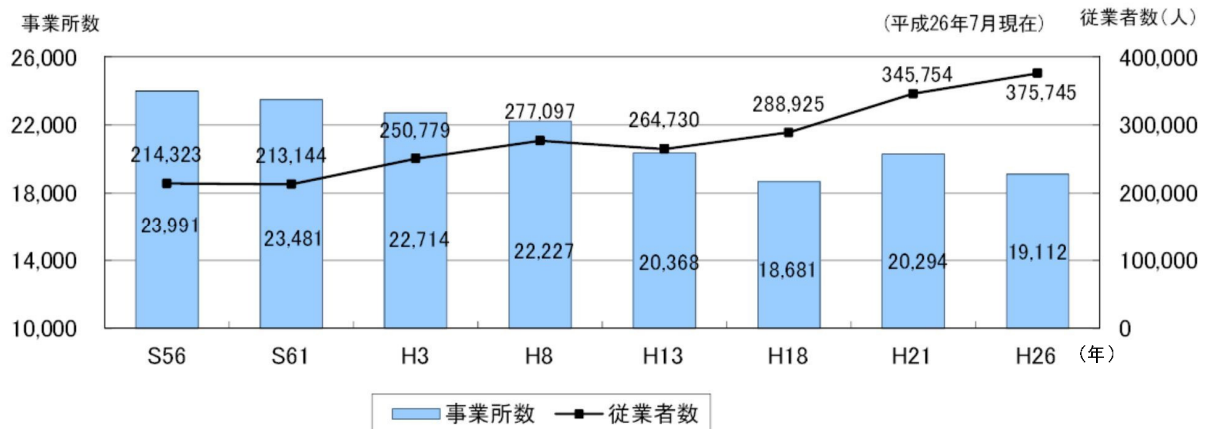
- 課題
- ・ 区内事業所の8割以上を占める小規模な事業所（従業員20人未満）への支援が必要です。
 - ・ 有効求人倍率が上昇し、人手不足の状況が推察されます。
 - ・ 中小企業の人手不足を解消するため、次世代に対し、中小企業に興味を持ち理解を深める取組が必要です。
 - ・ 個店の商店街組織への加入促進等で商店街組織の安定化を図るとともに、魅力ある個店の挑戦を促す支援を展開することが必要です。

論点1 区内産業・商店街の振興

① 事業所数・従業者数の推移

✓ 従業者数は増加しているが、事業所数は昭和56年をピークに減少している

事業所数（総数）・従業者数の推移

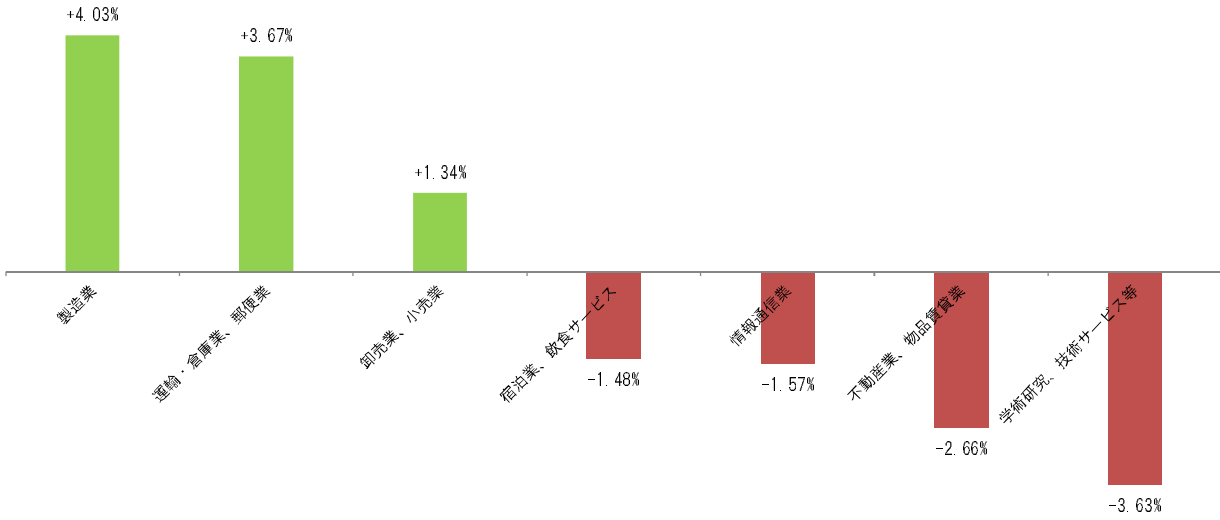


論点1 区内産業・商店街の振興

② 江東区・特別区(平均)産業別集積率*比較

*集積率 = 対象区域内全産業事業所数に占める各産業事業所数の割合

✓ 製造業、運輸・倉庫業は特別区平均と比較して高い集積率を示しているが、学術研究・技術サービス業などは、平均を下回る集積率に留まっている



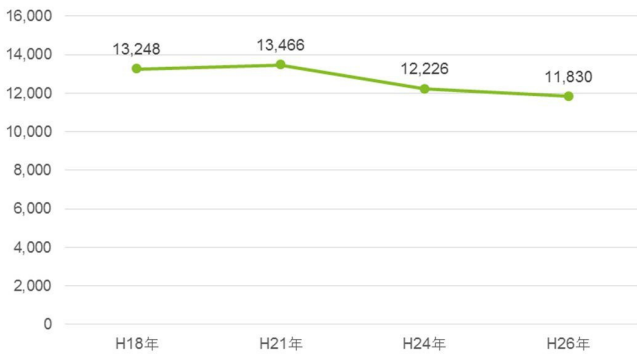
出典: 経済課資料

論点1 区内産業・商店街の振興

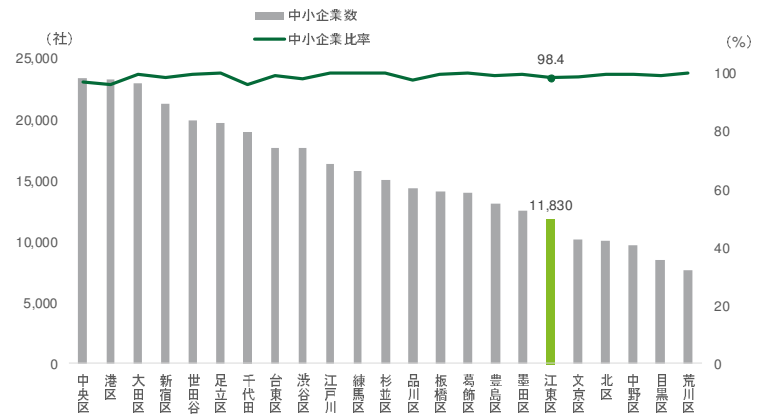
③ 江東区の中小企業数の推移、中小企業数・中小企業比率(23区比較)

- ✓ 中小企業数は、約12,000であり、数は減少傾向にある(23区の中では18番目)
- ✓ 中小企業比率は98.4%であり、23区及び全国と同様に極めて高い比率である

江東区の中小企業数の推移



中小企業数・中小企業比率(23区比較)

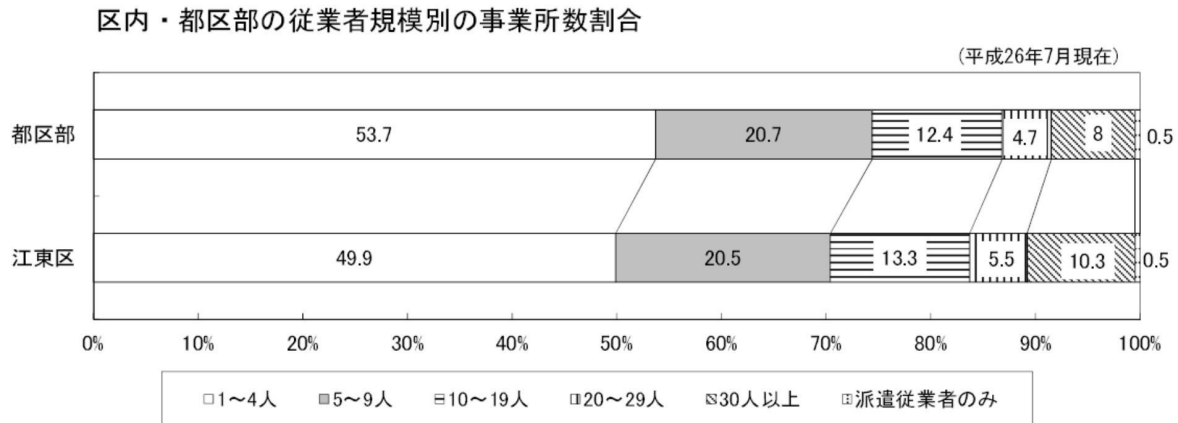


出典: 東京都産業労働局「東京の産業と雇用就業」

論点1 区内産業・商店街の振興

④ 従事者規模別の事業所割合

✓ 23区の傾向と同様に、従業員20人未満の小規模な事業所が全体の8割以上を占めている



出典：総務省「平成26年経済センサス基礎調査」

論点1 区内産業・商店街の振興

⑤ こうとう若者・女性しごとセンター運営事業、有効求人倍率の推移

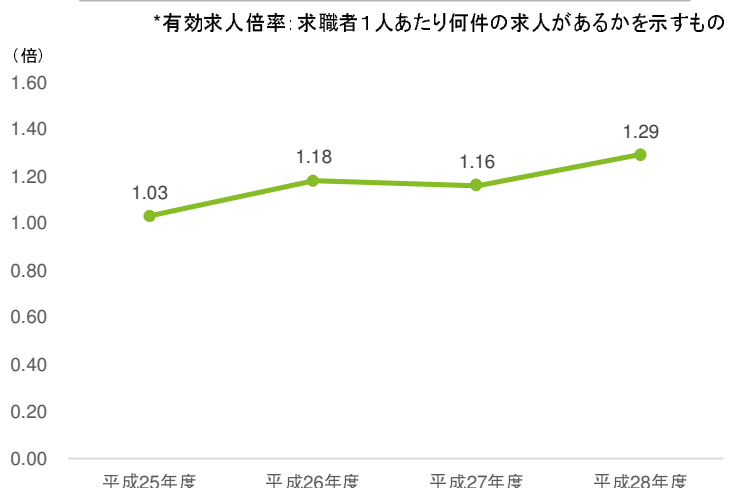
✓ こうとう若者・女性しごとセンター運営事業開始以降、500～600人程度を区内企業への就職に結びつけている
 ✓ 有効求人倍率は上昇傾向にあり、平成28年度は1.29である

こうとう若者・女性しごとセンター運営事業

	利用登録者数 (来所者数)	カウンセリング数 (実人数)	(各年1月～12月)	
			求人数 (求人企業数)	決定数 (内職を含む)
平成27年	254人 (626人)	—	477人 (142社)	41人
平成28年	1,031人 (4,211人)	2,920人 (884人)	1,499人 (386社)	452人
平成29年	1,018人 (4,532人)	3,152人 (967人)	1,653人 (360社)	599人
平成30年	1,052人 (4,449人)	3,112人 (1,027人)	1,560人 (149社)	512人

※平成27年10月事業開始

有効求人倍率*の推移

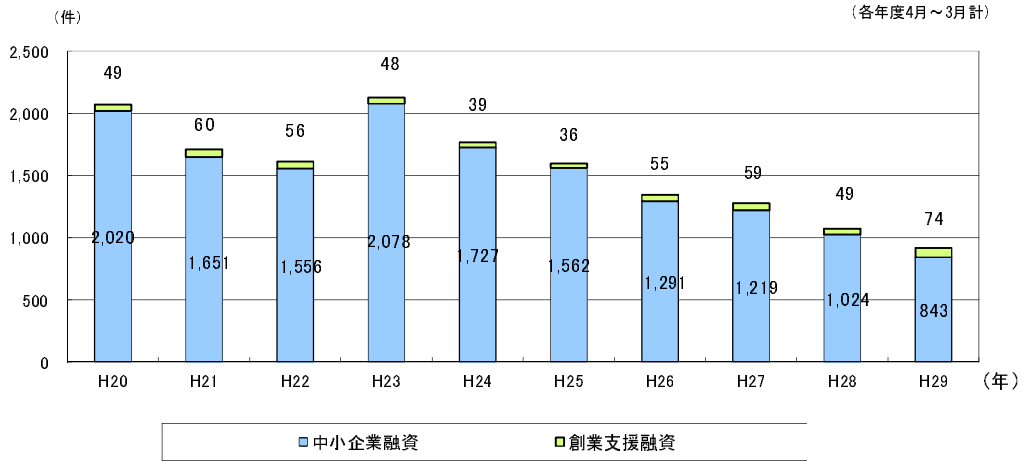


出典：経済課資料

出典：東京労働局「職業安定業務年報」
 ※ハローワーク木場(管轄：江東区、江戸川区)

⑥ 融資貸付件数(中小企業融資・創業支援融資)の推移

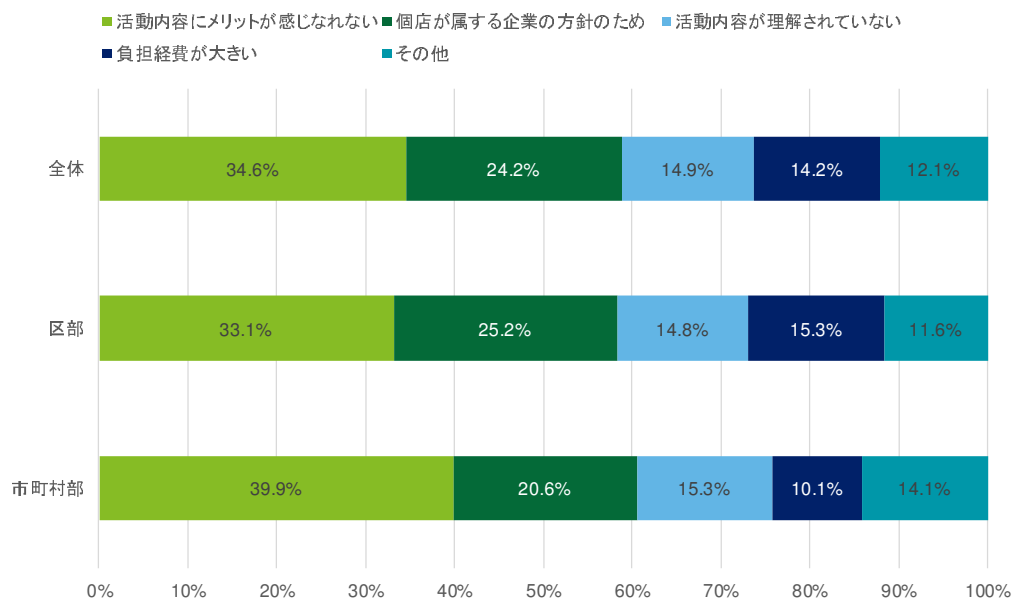
- ✓ 融資貸付件数は、中小企業融資が大半を占めており、総数としては減少傾向である
- ✓ 創業支援融資は件数自体は少ないものの、平成29年度は前年度と比較し大きく増加している



出典：経済課資料

⑦ 個店が商店街組織に加入しない理由

- ✓ 区部の理由としては、「活動内容にメリットが感じられない」が最も多く、次いで「個店が属する企業の方針」、「負担経費が大きい」となっている
- ✓ 市町村部と比較すると、「活動内容にメリットが感じられない」と回答した率は低く、「個店が属する企業の方針」、「負担経費が大きい」と回答した率は高くなっている



出典：東京都産業労働局「平成28年度東京都商店街実態調査報告書」

論点2 地域コミュニティの活性化

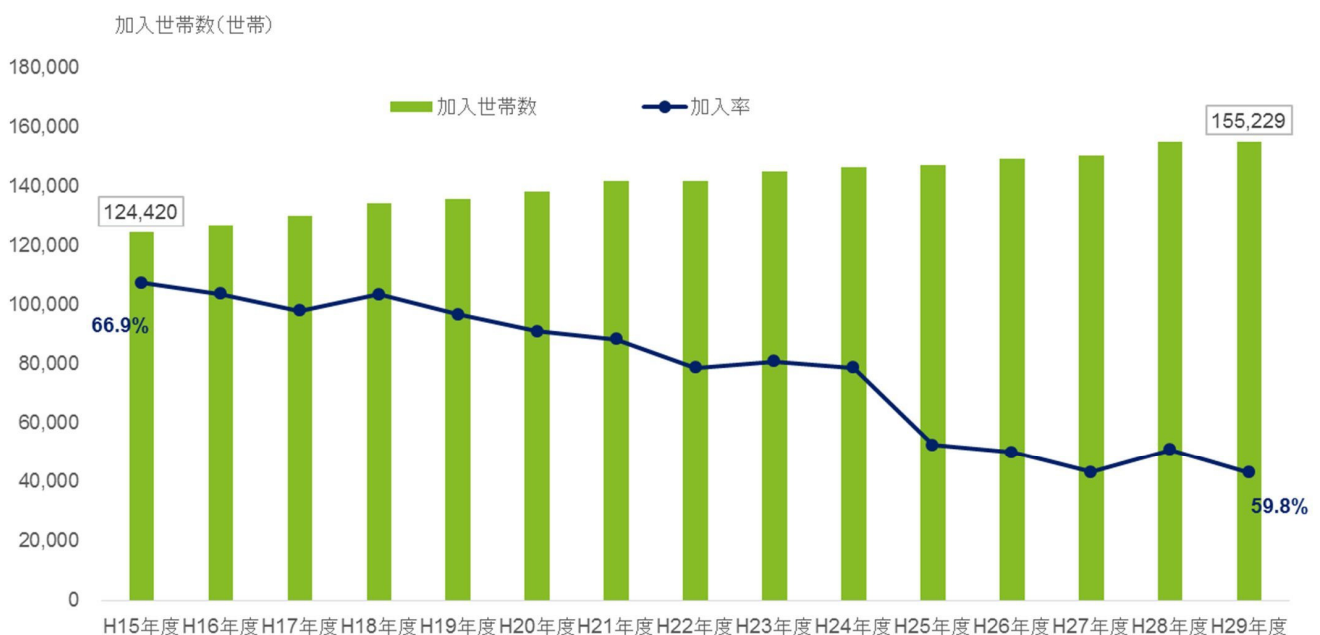
これまでの区の取組・現状	<ul style="list-style-type: none"> 江東区では、町会・自治会への活動支援を通じてコミュニティの活性化を図るほか、地区集会所などの計画的な改修を行い、コミュニティ活動の場の提供も行ってきました。 区民まつりや国際交流イベントなどを通じて、地域や国籍を超えた交流の促進を図ってきました。
社会状況	<ul style="list-style-type: none"> 全国で地域コミュニティが衰退しており、国の調査によると、その衰退を促す事象として「昼間に地域にいないことによるかわりの希薄化」、「コミュニティ活動のきっかけとなるこどもの減少」、「住民の頻繁な入れ替わりによる地域への愛着・帰属意識の低下」等が挙げられています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が固定化されつつある町会・自治会などのボランティア活動では、新たな担い手の確保が必要です。 住民同士の交流を促すには、地域コミュニティが開催するイベント活動の支援に取り組む必要があります。 地域コミュニティの活動情報を区民に分かりやすく提供し、コミュニティ活動に対する関心を高める必要があります。 増加傾向にある外国人住民が地域になじみ、自治会・町会などのコミュニティ活動に参加しやすい環境を整備する必要があります。 新たに住民となった方と長く区に住んでいる方との交流・相互理解が求められています。

論点2 地域コミュニティの活性化

① 町会・自治会加入世帯、加入率*の推移

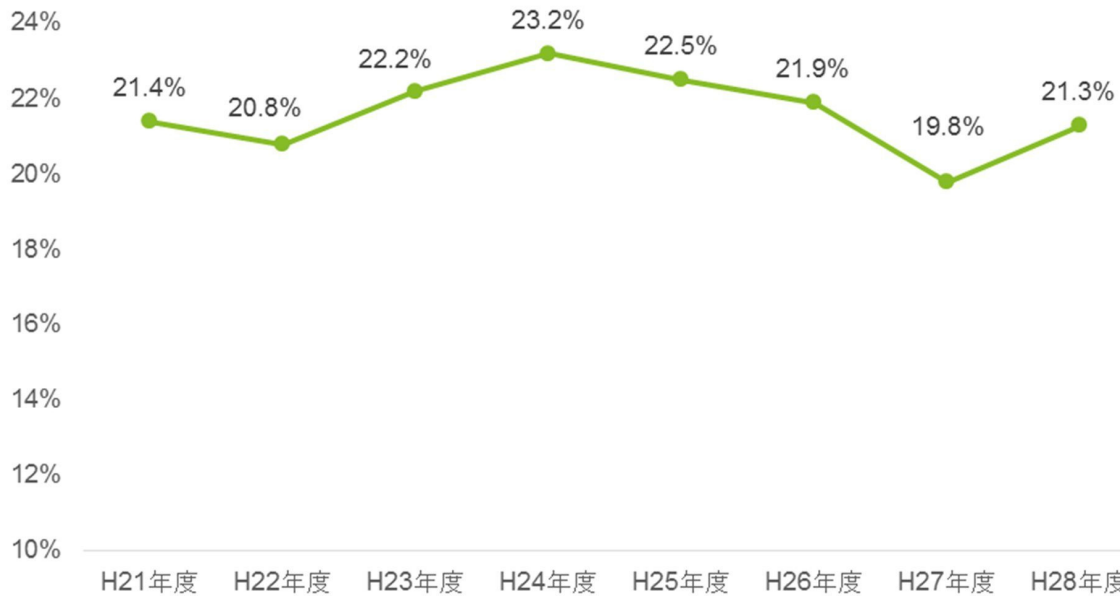
*加入率: 加入世帯/全世帯

✓町会・自治体の加入世帯数は増加している一方で、総世帯数の増加により加入率は減少傾向にある



② 町会等のボランティア活動に参加する区民の割合

- ✓ ボランティア活動の参加率は、概ね20%前後を推移している
- ✓ 40歳以降の参加割合が高い傾向にある。また、役員の高齢化と担い手不足の課題がある

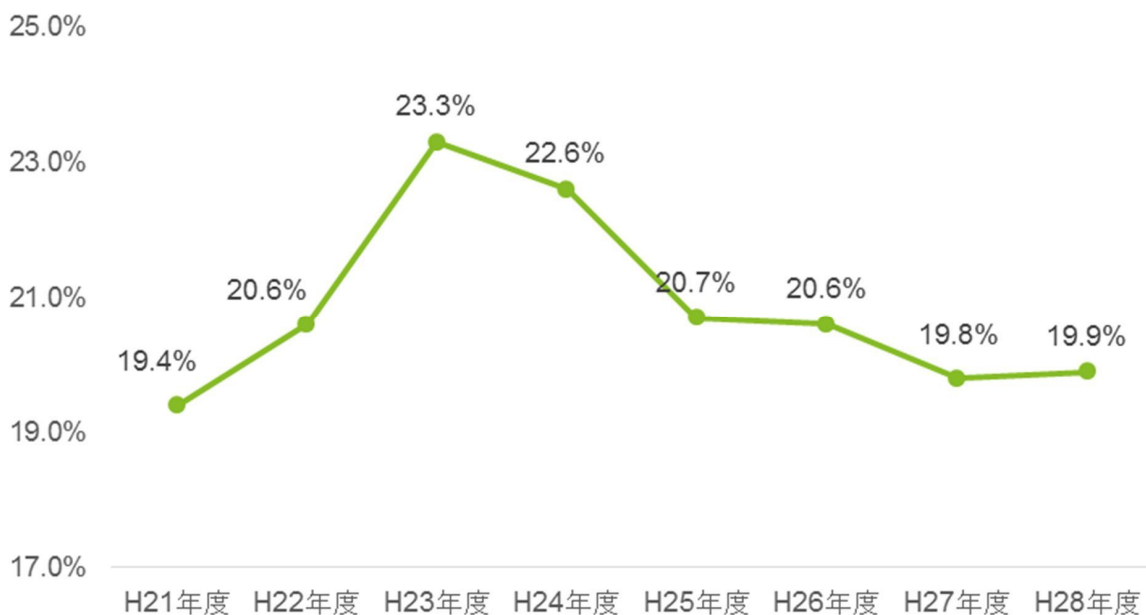


出典：平成29年度江東区長期計画区民アンケート調査

③ 区が提供するコミュニティ活動情報*を使ったことがある区民の割合

*コミュニティ活動情報：町会・自治会、NPO、ボランティアなどが行っているイベントやサービスの情報

- ✓ 区報・ホームページなどで提供するコミュニティ活動情報を使ったことがある区民の割合は、2割前後で推移している

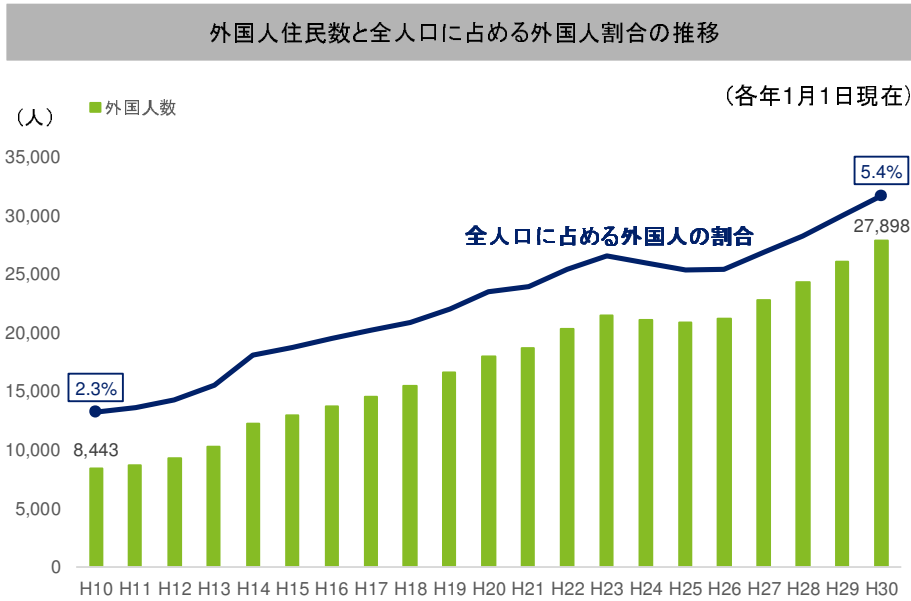


出典：平成29年度江東区長期計画区民アンケート調査

論点2 地域コミュニティの活性化

④ 外国人住民数と全人口に占める外国人割合の推移

- ✓ 全人口に占める外国人住民の割合は過去20年間で約3ポイント上昇し、平成30年1月時点で27,898人(23区中5番目)、人口の5.4%(23区中8番目)となっている
- ✓ 国籍別では、中国(13,823人)、韓国(4,525人)、インド(1,857人)、フィリピン(1,521人)の順に多い



主な国籍別外国人人口

(平成30年1月1日現在)

国籍	人口
中国	13,823人
韓国	4,525人
インド	1,857人
フィリピン	1,521人
ベトナム	936人
その他	5,236人
計	27,898人

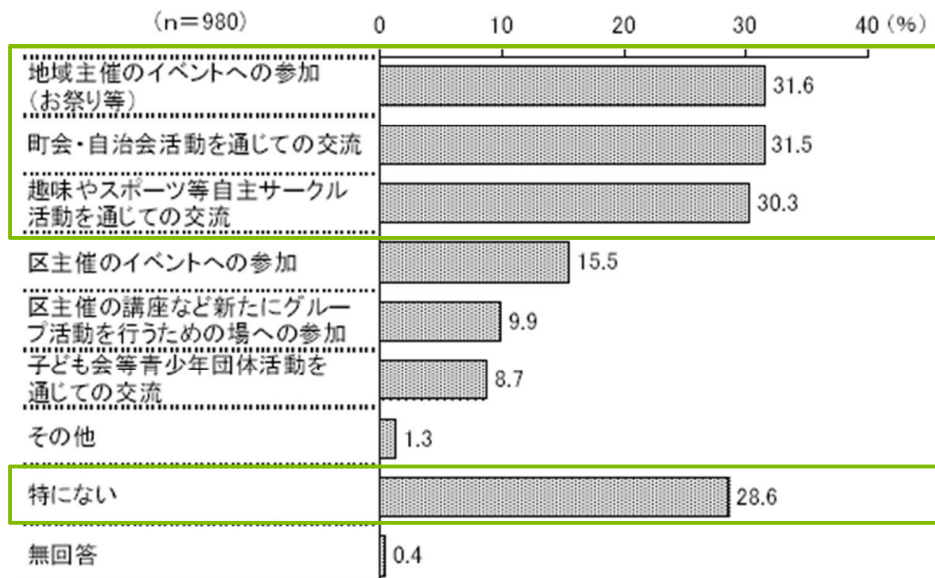
出典：人口統計

論点2 地域コミュニティの活性化

⑤ 住民同士の交流方法

- ✓ 新たに住んだ区民と以前から住んでいる住民同士の交流方法は、「地域主催のイベントへの参加」、「町会・自治会活動」、「趣味やスポーツ等自主サークル活動」が上位になっている
- ✓ 「特にない」と回答した方が約3割存在する

図表2-1-1 新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民との交流（複数回答）



出典：第23回 江東区政世論調査(平成29年度)

論点3 一人ひとりが尊重される社会の実現

これまでの区の実況・取組

- 江東区では、人権相談や人権学習講座の実施のほか、男女共同参画社会の推進を図るための講座やDV、家庭問題等女性のなやみ相談を実施するなど、人権や男女共同参画社会に関する意識啓発、相談体制の確立等に取り組んできました。

社会状況

- 内閣府の「人権擁護に関する世論調査」(平成29年実施)で、基本的人権が憲法で保障されていることを2割近くの者が「知らない」と答えており、周知度がいまだ十分とはいえない状況です。
- 世界経済フォーラムが毎年公表する世界各国における男女間の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(※)」の日本の順位は下位にあり、特に政治参画・経済参画において男女間格差が大きい状況にあります。

課題

- 今もなお人権問題は存在しているため、人権尊重の理念が広く社会に浸透するための施策を推進していく必要があります。
- 年齢、性別、国籍、障害の有無等によるあらゆる偏見や差別をなくし、多様性を認め合い、全ての人が尊重される社会実現への取組が求められています。
- 男女共同参画行動計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、積極的な取組が必要です。
- ワーク・ライフ・バランス推進のため区民への意識啓発と区内企業・事業主に対して積極的な取組の働きかけを進めていく必要があります。

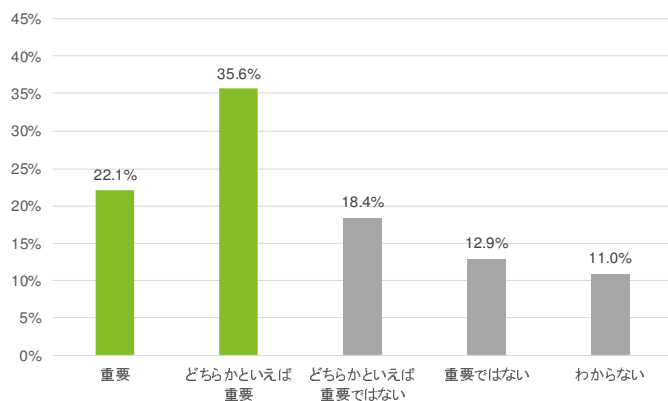
(※)ジェンダー・ギャップ指数：経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示す。平成30年の日本の値は0.662で149か国のうち110位。

論点3 一人ひとりが尊重される社会の実現

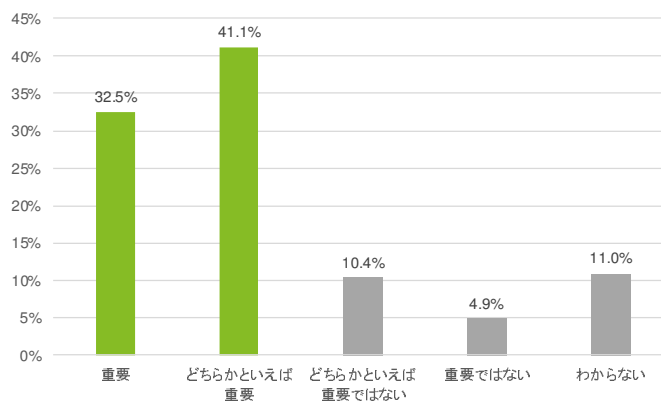
① 性的少数者(性的マイノリティ)に関する行政の取組

- ✓ 区が性的少数者に関する啓発活動を行うことについて、55.7%が「重要」、「どちらかといえば重要」と回答している
- ✓ 学校で性的少数者の人権について教育することについて、73.6%が「重要」、「どちらかといえば重要」と回答している

性的少数者に関する啓発活動を区が行うことについて、どう思うか



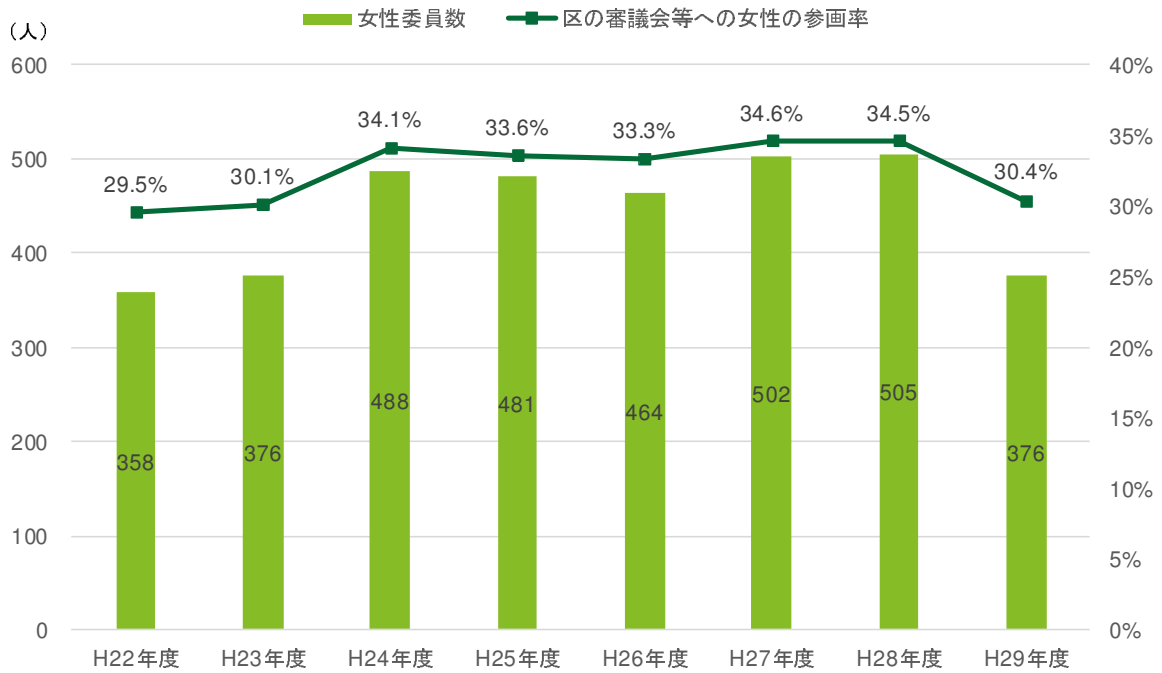
性的少数者の人権について、学校で教育することをどう思うか



論点3 一人ひとりが尊重される社会の実現

② 審議会等委員における女性委員数及び参画率の推移

✓ 審議会委員等への女性の参画率は3割前後で推移している

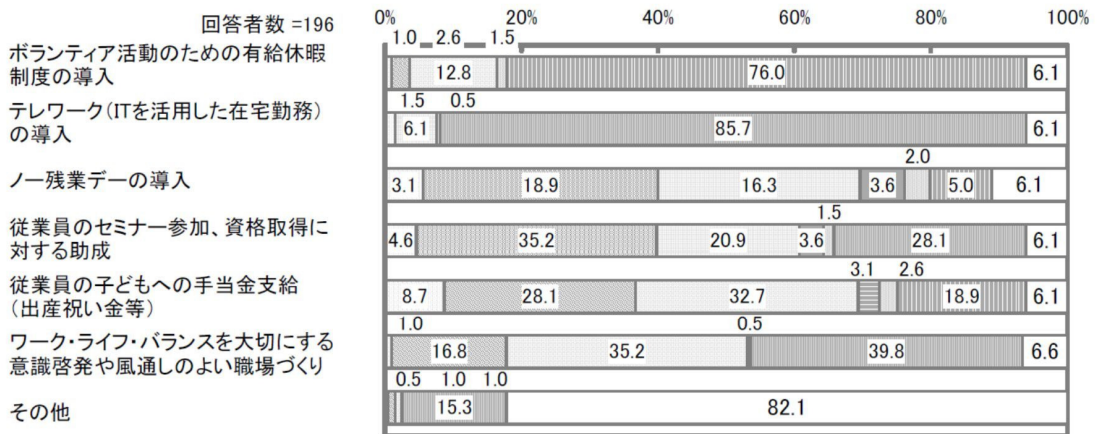


出典：男女共同参画KOTO プラン-改定版-

論点3 一人ひとりが尊重される社会の実現

③ ワーク・ライフ・バランス推進のための取組の有無

- ✓ 区内企業・事業所の「ボランティア活動のための有給休暇制度の導入」、「テレワーク(ITを活用した在宅勤務)の導入」は限定的となっている
- ✓ 「ノー残業デーの導入」、「従業員のセミナー参加、資格取得に対する助成」、「従業員の子どもへの手当金支給(出産祝い金等)」は取組が進んでおり、「大きな効果や変化があった」と「ある程度の効果や変化があった」と回答した割合が40%程度となっている



- 大きな効果や変化があった
- ある程度の効果や変化があった
- とちらともいえない
- あまり効果や変化はなかった
- ほとんど効果や変化はなかった
- 取り組んでいない
- 無回答

出典：男女共同参画KOTOプラン - 改定版 -

論点4 生涯にわたり学習できる環境の充実

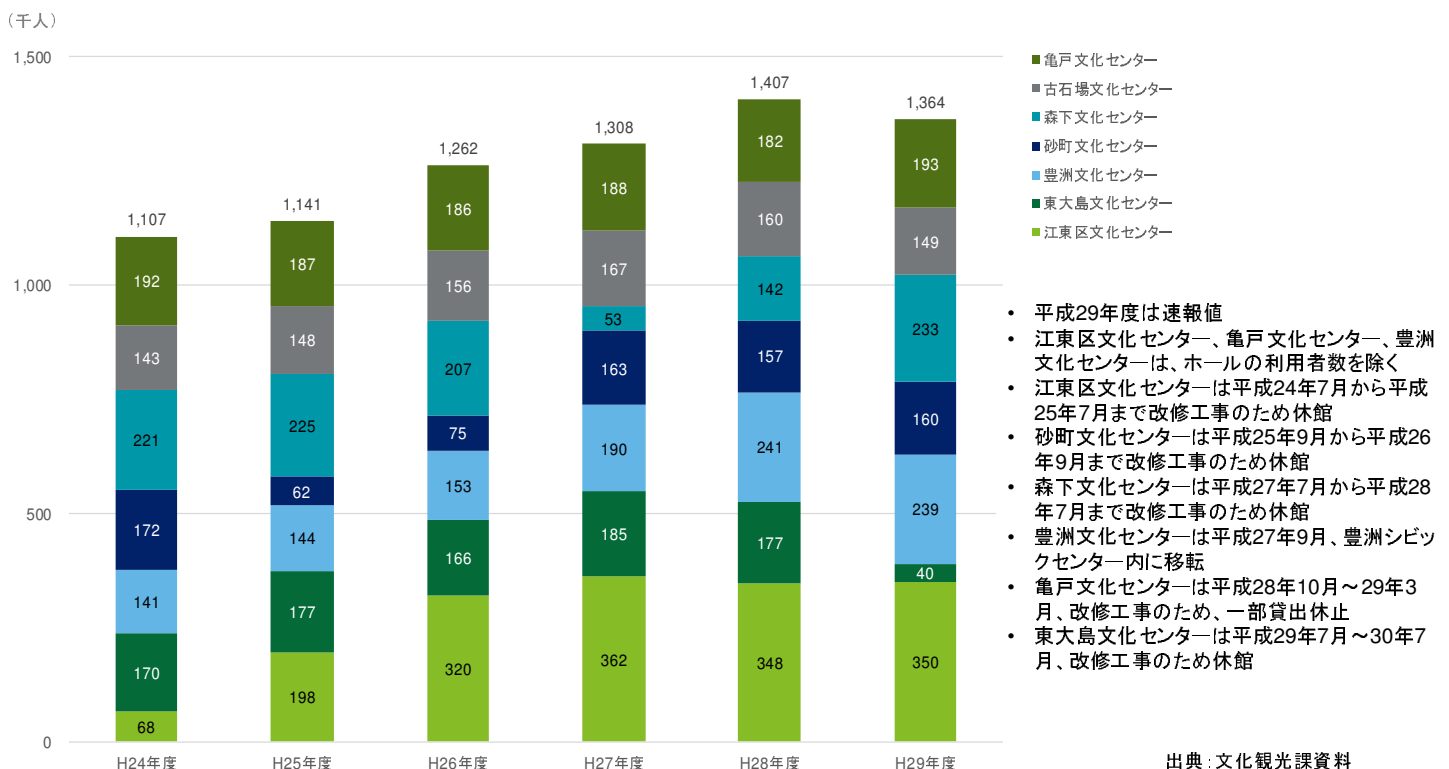
これまでの区の取組・現状	<ul style="list-style-type: none"> 江東区では、生涯学習の継続的な活動への支援とともに、区民企画講座の充実等により、区民自らが蓄積した知識を地域に還元できる環境づくりを進めてきました。また、自動貸出返却機の導入など図書館の利便性向上を図ってきました。
社会状況	<ul style="list-style-type: none"> 社会状況の変化の激しい時代においては、学校を卒業し、社会人となった後も、さらに学びを重ね、新たな知識や技能、教養を身に付けることも重要となっています。 国では、平成29年9月に設置した「人生100年時代構想会議」において、「何歳になっても学び直しができるリカレント教育(※)」を主要テーマの1つとして取り上げ、その推進に向け検討しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化センターの利便性向上や地域情報拠点としての図書館機能の強化など、誰もが参加しやすい生涯学習の整備が必要です。 図書館の利用者は増加傾向にあり、開館日数・時間の拡大やIT化の拡充などにより、一層のサービス向上が必要です。

(※)リカレント教育: 社会に出た者(社会人)が教育機関に入り直して改めて教育を受けるということ、及び、そうした活動を支援する制度や取組、考え方のこと。

論点4 生涯にわたり学習できる環境の充実

① 文化センター総利用者数の推移

- ✓文化センターの利用者数は、近年増加傾向にあり、平成29年度は約136万人となっている
- ✓江東区文化センター、豊洲文化センター、森下文化センターの利用が多くなっている

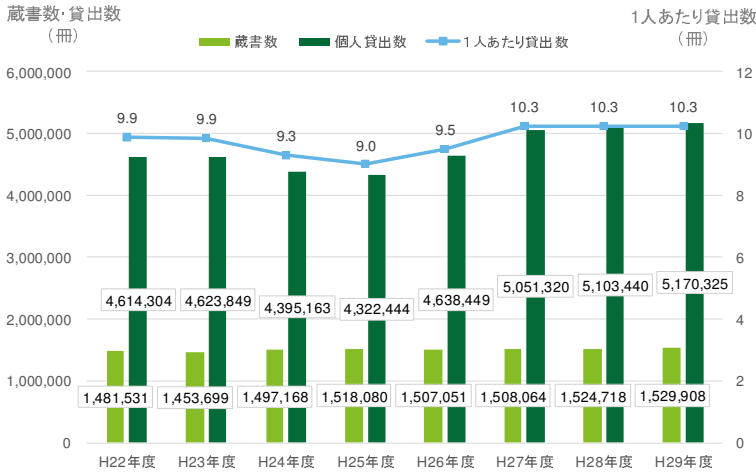


論点4 生涯にわたり学習できる環境の充実

② 区立図書館の蔵書数・個人貸出数・1人あたり貸出数の推移、各館の個人貸出数

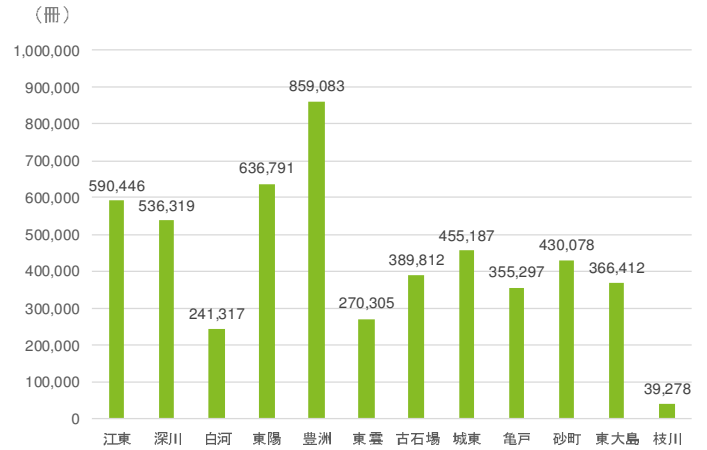
- ✓ 蔵書数、個人貸出数ともに増加傾向である
- ✓ 個人貸出数は、豊洲図書館(859,083冊)が最も多く、次いで東陽(636,791冊)、江東(590,446冊)、深川図書館(536,319冊)となっている

区立図書館の蔵書数・個人貸出数・1人あたり貸出数の推移



※貸出数は個人貸出数、1人あたり貸出数は、個人と団体の貸出数合計を人口で除した数値。

各館の個人貸出数(平成29年度)

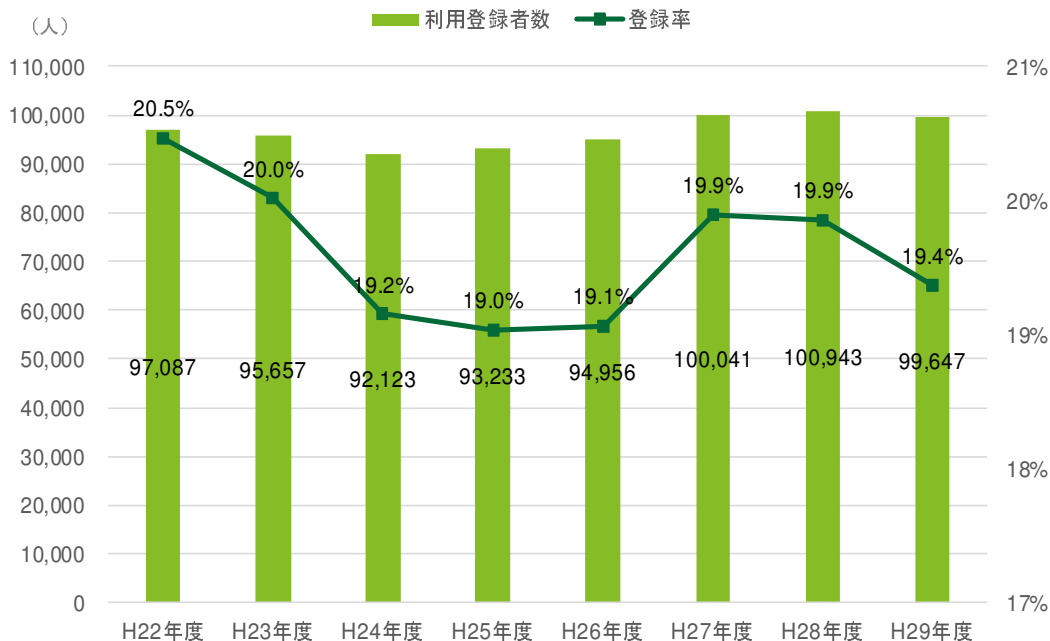


出典：平成29年度江東区のとしょかん

論点4 生涯にわたり学習できる環境の充実

③ 区立図書館の利用登録者数・登録率の推移

- ✓ 利用登録者数は平成24年度以降増加していたが、平成29年度は前年から減少し、99,647人となっている
- ✓ 平成22年度と平成29年度を比較すると、利用登録者数自体は増加しているものの、区の人口増加の影響により、登録率は減少している



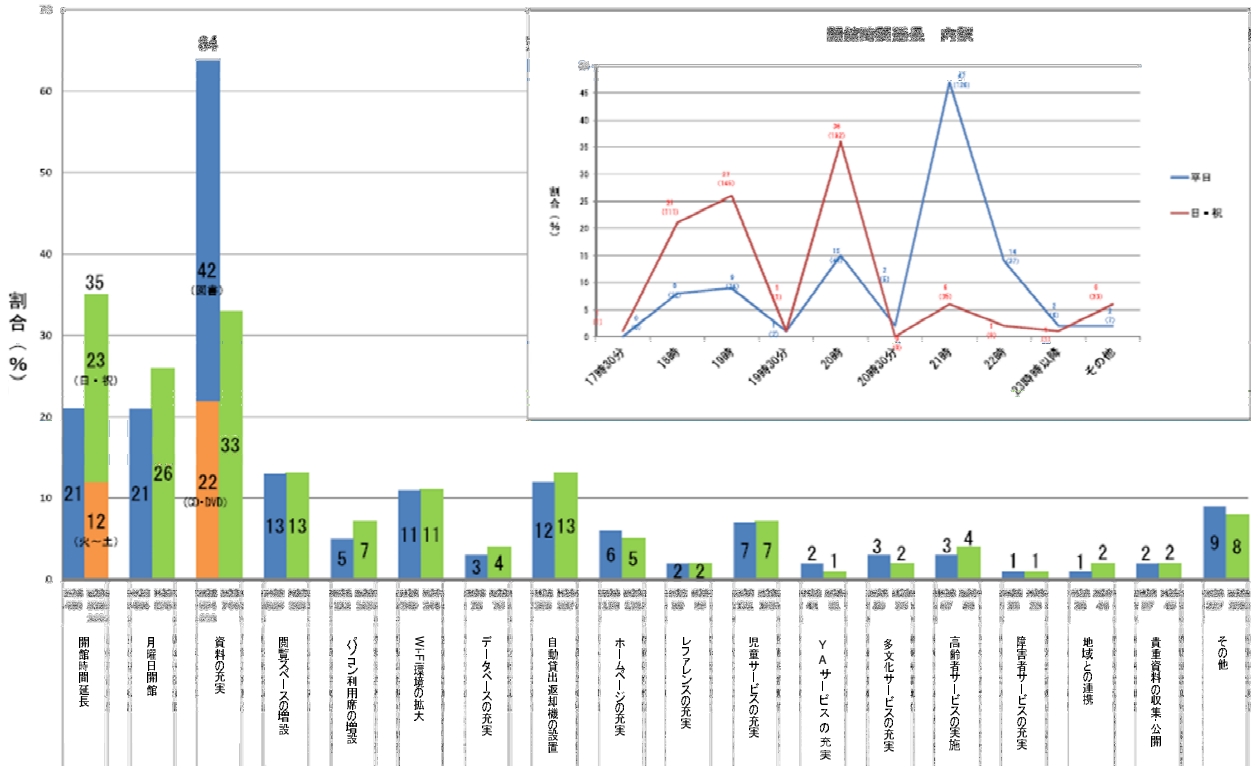
※利用登録者数は、利用登録があり、年度内に1冊以上提供を行った人数。

出典：江東図書館資料

論点4 生涯にわたり学習できる環境の充実

④ 区立図書館における改善を希望するサービス

✓改善を希望するサービスは、「資料の充実」が最も多く、「開館時間延長」のほか、「月曜開館」、「閲覧スペースの増設」、「自動貸出返却機の設置」、「wi-fi環境の拡大」が続いている



出典：江東区立図書館指定管理者制度導入準備に向けた検討結果(報告)について(平成30年1月)

論点5 スポーツを楽しめる環境の充実

これまでの区の取組・現状

- 江東区では、各種体育・地域団体や民間企業、教育機関と連携し、地域のスポーツ活動の活性化を推進してきたほか、屋内・屋外スポーツ施設の計画的な改修を行い、利便性の向上を図ってきました。

社会状況

- 国はスポーツ基本計画を策定し、年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参加することができるスポーツ環境の整備を進めています。

課題

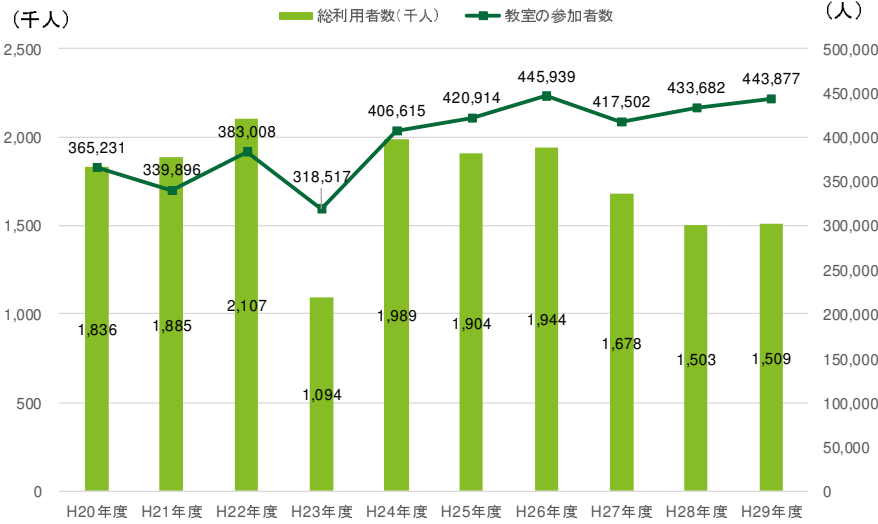
- 子どもや高齢者のほか、働き盛り世代が地域の中でスポーツ・運動を楽しめる場所・機会の確保が必要です。
- 障害者がスポーツに親しめる環境整備と障害者スポーツへの理解促進が必要です。
- ライフステージに応じたスポーツ環境の創出、関係各主体との連携等を通じて、区民にスポーツをより身近に感じてもらい、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も誇りを持てるスポーツ環境を残していく必要があります。

論点5 スポーツを楽しめる環境の充実

① 区立スポーツ施設利用者数の推移、教室(自主事業)の主な内容

- ✓ 総利用者数は、施設改修の影響により平成26年度以降減少しており、平成29年度は1,509千人となっている
- ✓ 一方、スポーツ施設で行われる教室の参加者数は増加傾向にあり、平成29年度は延べ約45万人が参加している

区立スポーツ施設利用者数の推移



教室の主な内容

	事業名	延参加人数
屋外施設	全国統一かけっこチャレンジ	3,780
	少年・少女スポーツクリニック 陸上競技の部	730
	少年・少女スポーツクリニック サッカーの部	350
	夢スタ・アスリートクラブ	671
	夢の島ランニングクラブ	649
	江東区秋季陸上競技大会	3,160
屋内施設	組織づくり事業	1,970
	スポーツ教室事業	65,876
	体づくり事業(教室)	2,517
	体づくり事業(その他)	31,642
	区民体育大会	27,766
	少年少女スポーツ教室	2,832
	障害者カヌー教室	14

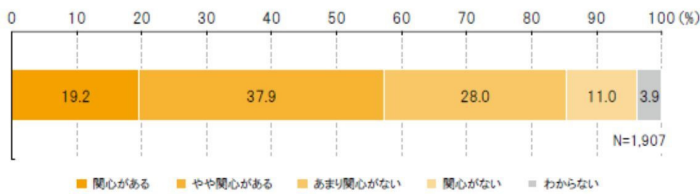
出典:スポーツ振興課資料

論点5 スポーツを楽しめる環境の充実

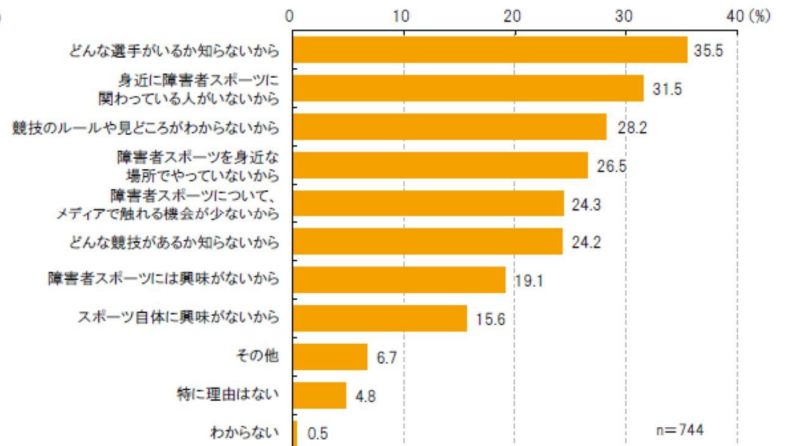
② 障害者スポーツへの関心度

- ✓ 都民の障害者スポーツへの関心は、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせて約6割となっている
- ✓ 「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせて約4割であり、その理由としては、「どんな選手がいるか知らないから」(35.5%)、「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」(31.5%)が上位となっている

障害者スポーツへの関心度(平成29年度)



障害者スポーツに関心がない理由(平成29年度)



出典:東京都生活文化局「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査」

論点6 文化・歴史の継承と観光振興

これまでの区の取組・現状	<ul style="list-style-type: none"> 江東区では、「江東区文化プログラム基本指針」に基づき、歴史文化資産の保護や民俗芸能などの伝統文化の継承に努めてきたほか、芸術文化に関する公演などを実施し、文化振興の普及を図ってきました。 多様な観光資源に恵まれており、観光情報の発信や観光ガイドの育成等を通じて、観光施策を推進してきました。
社会状況	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や少子高齢化の進展により、国内旅行市場は大幅な伸びが期待できない一方で、訪日外国人旅行者は増加を続けており、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催後も、訪日外国人旅行者に対する市場は拡大していくと見込まれます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い芸術文化の価値や取組の意義について、区民へのPRに努めるとともに区内外への情報発信をさらに強めるほか、芸術文化に触れる・参加する機会を提供し、芸術文化の創造や次世代への育成に繋げていくことが必要です。 地域観光の担い手である観光関連団体等を支援し、官民連携による観光客の総合的な受け入れ態勢の整備や一体的な情報発信の強化など、観光事業に対する戦略的、体系的な施策の推進が必要です。 観光振興による地域経済の活性化には、観光拠点や観光施設、商店街などの物的資源や文化観光ガイドなどの人的資源を有効活用した施策の展開が必要です。

論点6 文化・歴史の継承と観光振興

① 区内の主な文化財・観光名所

- ✓ 区内の主な文化財・観光名所は92カ所存在する
- ✓ 深川エリアは、他エリアよりも多くの文化財・観光名所を所有している

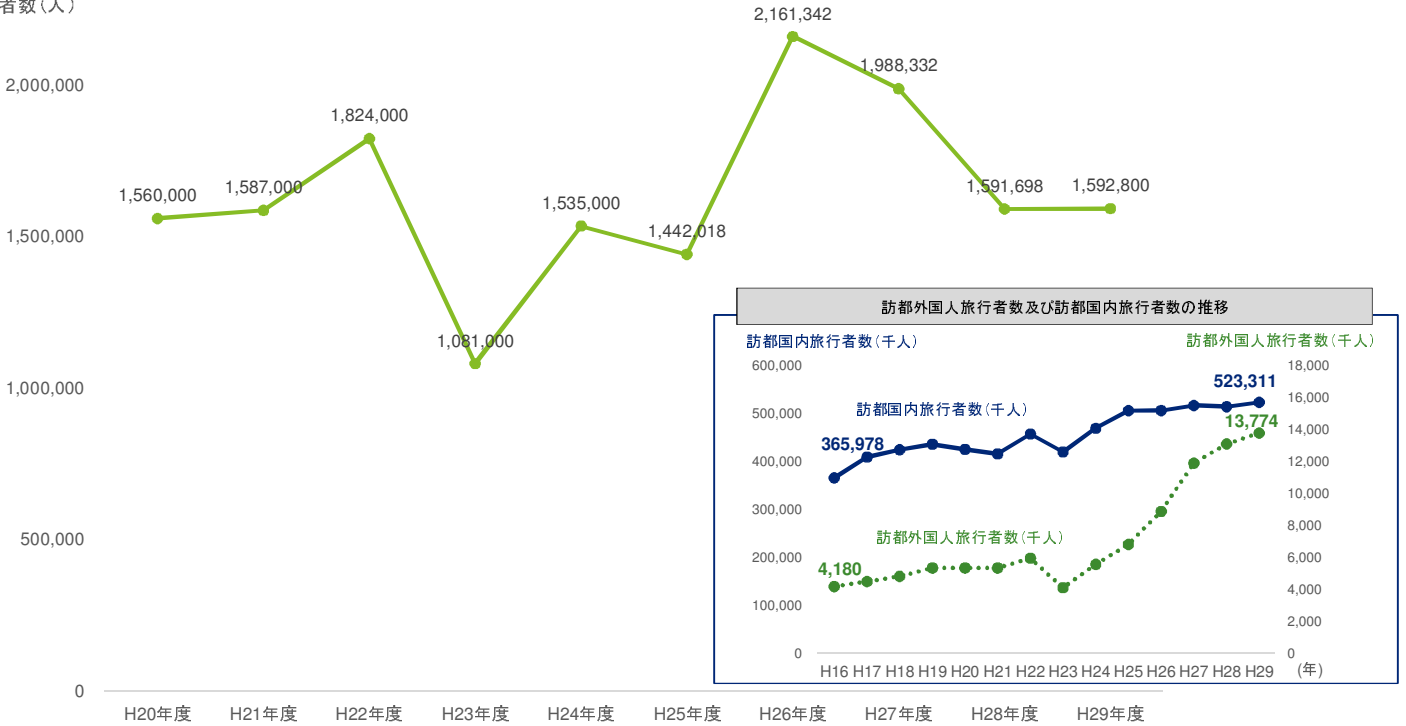
深川エリア	錦糸エリア	豊洲エリア
芭蕉記念館	亀戸天神社	キッズニア東京
深川神明宮	庚申塔・萩（龍眼寺）	がすてなーに ガスの科学館
細河水産 ぬくろ屋と工房館（地下文化センター）	伊藤左千夫墓（誓門院）	虹の下水道館
銅造地藏菩薩坐像（靈藏寺）	香取神社	水の科学館
清澄庭園	中川船所資料館	日本科学未来館
深川江戸資料館	砂町の富士塚（富貴岡八幡宮）	東京ビッグサイト
東京都現代美術館（休館中（平成30年度末（予定）まで）	仙台堀川公園	パレットタウン
深川不動堂旧本堂	石田政郷記念館	第五福竜丸展示館
彌福力士碑（富岡八幡宮）	亀戸銭座跡	夢の島熱帯植物館
明治丸	天祖神社	大江戸温泉物語
萬年橋	梅屋敷跡	若洲海浜公園・若洲公園
平賀源内電気実験の地	亀戸・大島緑道公園	有明テニスの森、コロジウム
村田春岳の墓（本誓寺）	あさくさ道の道標（浅間神社）	ワンザ有明ベイモール
徳松院	愛宕神社	テレコムセンター 展望室
深川園屋文左衛門の墓（成等院）	塩なめ地蔵（宝塚寺）	辰巳の森緑道公園
阿茶屋墓塔（観光院）	砂町銀座商店街	東京辰巳国際水泳場
竈工恩賜公園	中浜万次郎宅跡	TOKYO ミナトリエ
五百糺御道標・五本松（小名木川橋）	四ツ車犬八の墓（因達寺）	木材・合板博物館
横十間川親水公園	南砂緑道公園	夢の島マリーナ
滝沢馬琴誕生の地	亀戸七福神	シンボルプラザナード公園
間宮林蔵の墓（本立院）	戦災資料センター	東京ゲートブリッジ
赤穂義士休息の地	旧大石家住宅	ダイバーシティ東京 プラザ
小津安二郎誕生の地	亀戸香取・勝運商店街（レトロ商店街）	豊洲市場
小津安二郎紹介展示コーナー	旧中川・川の歌	
探春庵跡	亀戸梅屋敷	
伊能忠敬住居跡	木下川やくしみち道標（境橋）	
法樂院	六阿弥陀道道標（常光寺）	
旧神正橋（八幡橋）	亀戸の富士塚（亀戸浅間公園）	
深川三十三間堂跡	力石・庚申塔（志満神社）	
牡丹園	鬼子母神道道標（上砂寺）	
四世鶴屋南北住居跡（黒船船宿）		
波除碑（洲崎神社）		
深川七福神		
奥田川三名橋（新大橋、津洲橋、永代橋）		
旧東京市深川集会所（深川東京モダン館）		
石造御明台（深川公園）		
八景深川ご利益通り		
養老稲荷神社本殿		
芭蕉稲荷神社		

論点6 文化・歴史の継承と観光振興

② 主な観光・文化施設への来場者数の推移

- ✓ 主な観光・文化施設への来場者数は、平成26年度に大きく上昇したが、その後減少傾向にある
- ✓ 訪都外国人旅行者数及び訪都国内旅行者数ともに増加傾向である

来場者数(人)



*東京現代美術館は、平成28年度5月末から改修工事のため休館

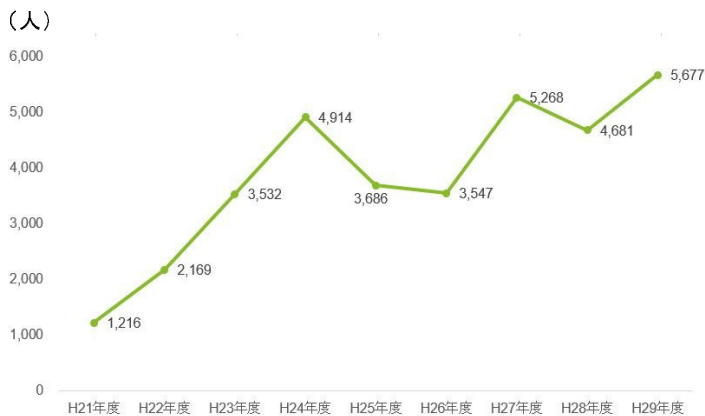
出典：東京都「東京都観光客数等実態調査」文化観光課資料

論点6 文化・歴史の継承と観光振興

③ 観光ガイドの案内者数の推移

- ✓ 観光ガイドによる案内者数は平成21年度から増加傾向にあり、平成29年度に5,677人と過去最多になった

観光ガイドの案内者数の推移



観光ガイドの案内コース

1	深川門仲ご利益コース	深川東京モダン館(集合)→深川公園→深川不動堂→人情深川ご利益通り→富岡八幡宮→八幡橋→三十三間堂跡→富岡八幡宮大鳥居(解散)
2	深川寺町・深江戸コース	深川東京モダン館(集合)→法乗院(えんま堂)→滝沢馬琴誕生の地→浄心寺→雲光院→紀伊国屋文左衛門墓(成等院)→豊巖寺→深川江戸資料館(前にて解散)
3	深川芭蕉コース	深川東京モダン館(集合)→探茶庵跡→芭蕉俳句の散歩道→清澄公園→本誓寺→臨川寺→万年橋→芭蕉稲荷→芭蕉庵史跡展望庭園→芭蕉記念館(前にて解散)
4	深川佐賀町・永代橋コース	深川東京モダン館(集合)→伊能忠敬住居跡→澁澤倉庫発祥の地→佐久間象山砲術塾跡→深川正米市場跡→赤穂浪士休息の地→永代橋→大川口の渡し跡→巽橋→越中島→門前仲町駅(解散)
5	亀戸文武ご利益コース	JR亀戸駅北口(集合)→亀戸銭座跡→亀戸天神社→龍眼寺→北十間川→梅屋敷跡→入神明宮跡→普門院→香取神社→亀戸香取勝運商店街(解散)
6	小名木川・船番所コース	東大島駅(集合)→中川船番所資料館(有料施設)→宝塔寺→大島稲荷神社→上妙寺→因達寺→荒川ロックゲート→旧小松川閘門→東大島駅(解散)
7	旧中川・荒川コース	東大島駅(集合)→東大島神社→亀戸浅間神社→城東電気軌道(亀小橋)→逆井の渡し跡→旧中川散歩道→荒川ロックゲート→中川船番所資料館(前にて解散)
8	深川七福神コース	森下駅(集合)→深川神明宮【寿老神】→深川稲荷神社【布袋尊】→龍光院【毘沙門天】→円珠院【大黒天】→心行寺【福祿寿】→冬木弁天堂【弁財天】→富岡八幡宮【恵比須神】→深川東京モダン館(解散)
9	亀戸七福神コース	亀戸駅(集合)→常光寺【寿老人】→東覚寺【弁財天】→天祖神社【福祿寿】→龍眼寺【布袋尊】→普門院【毘沙門天】→香取神社【恵比寿神・大国神】→亀戸梅屋敷(解散)

出典：文化観光課資料